

第2次愛媛県自転車新文化推進計画(案)の概要



目指すべき姿

- ★「サイクリストの聖地」瀬戸内しまなみ海道を誰もが訪れたい地域へ
- ★「サイクリングパラダイス」愛媛県を年齢や性別、体力・障がいの有無等に関わりなく自転車を楽しめる地域へ
- ★「サイクリングアイランド」四国を世界中からサイクリストを受け入れられる地域へ
- ★ 瀬戸内地域を世界に認められるサイクリング推進エリアへ

《計画期間》
2023年度
～
2026年度

目標1: 県民みんながつくり・育てるサイクリングパラダイス

(1) 自転車利用の普及・拡大

女性、高齢者、子ども、障がい者など、幅広い層へ「健康」「生きがい」「友情」を育む自転車新文化の考え方を波及させ、全ての県民が主体的に自転車を活用できる環境を作る。

(2) 愛媛マルゴト自転車道の推進

愛媛マルゴト自転車道(28コース)について、先進的なサイクリング環境の整備を目指したモデルルートとして位置付け、更なる利便性の向上を図るとともに、地域に根差した魅力的な自転車道に育てる。



E-BIKEでのサイクリング

★成果指標(実績)⇒(2026年度目標)

- ① 自転車新文化の認知度 2021年度 33.8% ⇒ 50%以上
- ② 通勤時の自転車分担率 2022年度 16.7% ⇒ 18.2%以上

(3) E-BIKEえひめの推進

体力の差や年齢に関係なく新たな楽しみ方の創出・提供等につなげるため、企業等と連携し、スポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)の普及に努める。

(4) タンデム自転車等の普及

障がいや体力の有無にかかわらず、サイクリングと一緒に楽しむことができるタンデム自転車等を普及させるとともに、取組状況等について情報発信を行う。

目標2: 交流人口の拡大による地域活性化

(1) ブランド力の向上と魅力発信

しまなみ海道を「サイクリストの聖地」として、認知度を一層高めるため、国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の定期的な開催や、観光コンテンツの磨き上げを図るとともに、来島海峡大橋を中心とするエリアと、欧米豪の著名な橋がありサイクリングが盛んなエリアとの間で交流を促進する。

(2) 受入環境・おもてなし態勢の整備

本県を訪れた方に安全・快適なサイクリングを楽しんでもらうため、サイクルオアシスの拡充や宿泊施設における自転車の屋内保管などサイクリスト向けサービスの充実を進める。

(3) 公共交通機関と連携した二次交通等の充実

県内における二次交通ネットワークを構築するため、鉄道事業者等と連携し、サイクルトレインやサイクルバス等の拡充により、サイクリストの利便性の向上を図る。

(4) おもてなし人材の育成

サイクリング中の安全確保やトラブル対応ができるサイクリングガイドを養成するとともに、恒常的なサイクリングガイド活用のための体制を構築するほか、自転車に携わる人材の育成に取り組む。

(5) サイクリングアイランド四国の実現をはじめとする広域連携の推進

四国4県や国・民間企業等との連携を強化し、四国一周サイクリングルート等の環境整備や受入体制の充実のほか、自転車安全利用の啓発やプロモーション活動を展開する。

(6) グレーターしまなみ・えひめ圏域形成による滞在型観光の推進【新規】

しまなみ海道の来島海峡大橋を起点に、松山市・西条市を含むエリアで広域サイクルツーリズム圏域を形成し、エリア内を周遊する新しい自転車旅の普及定着に向けた取り組みを展開する。

★成果指標(実績)⇒(2026年度目標)

- ① 県内におけるレンタサイクル利用者数 2021年度 39,004件 ⇒ 86,000件
- ② 県内サイクリングイベントの県外参加者の割合 2022年 14.9% ⇒ 50%

目標3: 歩行者・自転車にやさしいまちづくり

(1) 自転車を活かした都市環境の形成

安全で快適な自転車利用者環境を創出するとともに、公共交通との連携を強化し、自転車利用を促進させる。

(2) 自転車通行空間の計画的な整備

全ての自転車利用者が、安全・快適に通行できるよう自転車道などの整備をはじめ、自転車はもとより、歩行者にもやさしい環境の整備に取り組む。



自転車専用通行帯



車道混在

★成果指標(2022年度実績)⇒(2026年度目標)

- ① 自転車活用推進計画の策定市町数 6市町 ⇒ 10市町
- ② 自転車ネットワーク計画の概成市町数 1市 ⇒ 2市町

目標4: シェア・ザ・ロードの精神に基づく自転車の安全利用

(1) 自転車安全利用の普及・啓発

「シェア・ザ・ロード」の精神を更に浸透させ、ルールの遵守とマナーの向上により、自転車が関係する事故のない社会を目指す。

(2) ドライバー等への普及・啓発

道路を共有する自動車のドライバー等にも、自転車及び自動車等が共に安全に道路を通行することができるよう配慮を求める。

(3) 自転車安全利用に係る指導者の育成

自転車利用者のルールの遵守とマナーアップの意識を高めるため、教職員や行政職員等に対する講習会等を実施し、県民の模範となるべき指導者を育成する。

(※) 交通事故発生件数全体の減少割合以上の割合で減少させることを目指す。

(4) ライフステージに応じた自転車安全教育の充実

ライフステージに応じたカリキュラム作りに取り組みなど、自転車安全教育の体系化を図り、切れ目のない安全教育を実施する。



思いやり1.5m運動の啓発

★成果指標(2022年度実績)⇒(2026年度目標)

- ① 自転車事故発生件数 461件 ⇒ (※)
- ② 自転車通行順守率 55.2% ⇒ 60%以上

目標5: サイクルスポーツの振興

(1) 参画人口の拡大及び選手・指導者の育成による競技力向上

2023年に策定する第2期愛媛県スポーツ推進計画を基に、子どもの運動習慣の定着のほか、ジュニア選手の育成強化、指導者の確保や資質の向上等を図り、自転車競技の振興と競技力の向上を図る。

(2) 全国規模の各種大会等誘致

全国規模の大会誘致のほか、変化に富んだサイクリング環境を活かした合宿誘致等に取り組み、市町や競技団体と連携して活性化を図る。



ロードレース(えひめ国体)

★成果指標(実績)⇒(2026年度目標)

- ① 愛媛県在住のスポーツサイクリング参加者数 2021年 7,142人 ⇒ 10,000人
- ② 全国規模の大会等誘致数 2022年度 2件 ⇒ 5件